様式１

中堅教諭等資質向上研修（高等学校）　自己評価票

研修者氏名（　　　　　　 　　　　）

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 視　　　点 | | 事前評価 | 事後評価 |
| （１）  教職に必要  な素養 | ①法令遵守の精神を踏まえ、自ら範を示すとともに児童生徒に指導することができる |  |  |
| ②人権尊重に基づいた児童生徒理解をし、指導するとともに、学校の人権教育推進のために行動することができる |  |  |
| ③学年（学校）で生じている課題を把握し、管理職・同僚に相談しながら解決に向けて行動することができる |  |  |
| ④教育公務員としての自覚のもと、児童生徒への教育的愛情と学び続ける意欲をもち、組織を牽引する働きができる |  |  |
| ⑤長崎県の特色を理解し、そのよさを児童生徒たちに伝えるとともに、自分たちが住んでいる地域のよさや課題について取り上げることができる |  |  |
| （２）  学校運営  連携・協働 | ①学校教育目標を理解するとともに、学級経営、教科経営及び学年経営等の方針を策定し、同僚性や協働性を発揮しながら、積極的に実践することができる |  |  |
| ②保護者、地域、関係機関等と積極的に関わり、地域とともにある学校の核として、連携・協働した対応をすることができる |  |  |
| ③危機を予測した未然防止の取組と、危機を察知した際の迅速な連絡ができる |  |  |
| （３）  教育課程  学習指導 | ①担当する教科等に関する専門的知識を身に付け、指導に生かすことができる |  |  |
| ②カリキュラム・マネジメントの考え方を生かし、地域の人材等を活用するなどして、学習指導要領及び児童生徒の実態に基づいた指導計画を作成し、深い学びの実現を図る単元や授業の組み立てを工夫することができる |  |  |
| ③児童生徒の特性を理解し、教科等の見方・考え方を生かすなどして、主体的・対話的で深い学びを実現する授業を展開することができる |  |  |
| （４）  学級経営  児童生徒理解  生徒指導　等 | ①学年全体の児童生徒の実態を把握し、より望ましい集団づくりを組織的に進めることができる |  |  |
| ②教育相談や日常の観察を通して、児童生徒の気持ちや行動の背景を理解することができる |  |  |
| ③個々の児童生徒の状況を理解し、同僚と協力しながら、状況に応じた適切な指導や支援をすることができる |  |  |
| ④キャリア教育の視点をもって、児童生徒の夢や憧れ、志を育む学習や体験を深化させることができる |  |  |
| （５）  特別支援教育 | ①個々の障害に対して適切に対応するとともに、特別支援教育の理念や意義を全体の教育に反映させることができる |  |  |
| （６）  ＩＣＴや情報・教育データの利活用 | ①児童生徒の実態に応じた資質・能力の育成を目指し、ＩＣＴを適切に活用した授業を展開するとともに、校務の情報化を図り、効率化と教育活動の質の改善につなげることができる |  |  |
| ②教育データを活用した各種システム等を児童生徒の実態に応じて適切に活用して、よりよい学びを創出する授業実践等を行うことができる |  |  |

※評価は実施細目に定めた基準で、４、３、２、１のいずれかを記入する